

Cisco UCS Directorの再起動

この章は、次の項で構成されています。

• Cisco UCS Director の再起動, 1 ページ

Cisco UCS Directorの再起動

Cisco UCS Director のインストール後にエラーが表示された場合は、セキュアシェル(SSH)クラ イアントにログインしてスクリプトを実行し、サービスが実行されているかどうかを確認します。

ステップ1 Cisco UCS Director の IP アドレスを使用して、次のクレデンシャルでログインします。

a) ユーザ: shelladmin

b) パスワード: changeme

shelladmin にログイン済みでデフォルトパスワードを変更している場合は、上記パスワードの代わりにその新しいパスワードを使用します。

ログイン後に [shelladminパスワードの変更 (Change shelladmin password)]を選択してデフォ ルトパスワードを変更できます。

- ステップ2 すべてのサービスのステータスを表示するには、[サービスのステータスを表示 (Display services status)]を選択します。 このオプションが利用できない場合は、SSHを使用してサービスを再起動します。
- ステップ3 次のサービスが表示されることを確認します。
 - 1. Broker
 - 2. Controller
 - 3. Eventmgr
 - 4. Client
 - 5. Idaccessmgr
 - 6. Inframgr
 - 7. Websock

1

8. Tomcat

9. Flashpolicyd
(注) バックグラウンドで開始されるサービスは、このウィンドウに表示されません。

- ステップ4 [サービスの停止 (Stop services)]を選択します。
- **ステップ5** すべてのサービスが停止していることを確認するには、[サービスのステータスを表示 (Display services status)]を選択します。
- ステップ6 サービスを再起動するには、[サービスの開始(Start services)]を選択します。